



明日へ ジャンプ

No.183

身に付けた知識を生かし
将来は海外の人と関わる仕事を

伊勢崎興陽高等学校 3年 ^{まつもと かずき} 松本 一輝 さん



伊勢崎興陽高校の食と経済を考える系列で日々情報処理などの勉強に励む松本さん。興陽高校への進学を決めたことには理由がありました。

「進学先を決める際、高校では将来役に立つ資格が取りたいと思いました。また、元々ゲームが好きだったこともあり、情報処理について学べる興陽高校に進学しました」

松本さんは熱心に勉強に取り組み、これまでに多くの資格を取得。積み重ねた勉強の成果は、ことし開催された農業情報処理競技会でも発揮されました。

「農業情報処理競技会では、出題される農業に関する課題を、エクセル・ワード・パワーポイントを使つてまとめ、その成果を競います。これまで勉強してきた知識を生かして、県大会・関東大会では最優秀賞を獲得し、全国大会に出場することができました」

大会出場時には、既に出題されるレベルよりも上位の資格を有し、全国大会での活躍も期待された松本さん。しかし、大舞台でその実力を発揮することはできませんでした。

「以前から課題であった、問

題文を正確に読むという部分で失敗しました。不注意で文章を読み飛ばしてしまい、最優秀賞を獲得することができず、悔しかったです」

不注意による失敗も実力のうちと語る松本さん。ことしの11月には、自ら勉強に励み挑戦した英語技能検定で準1級を取得するなど、その前向きな姿勢は情報処理以外の分野でも発揮されています。そんな松本さんに、将来の夢を聞きました。

「高校卒業後は大学に進学し、経済学の勉強をしたいと思っています。また、英語も好きなので、将来は農作物を海外に輸出するなど、海外の人と関わる仕事がしたいです」

プロフィール

まつもと・かずき

ことし行われた校内の販売会では、和菓子専門店と協力し開発した、野菜パウダーを使ったわらび餅を販売するなど、授業にも積極的に取り組んでいる。休日は、得意の英語を生かし、海外の人とオンラインでゲームを楽しむ。

